

おうみネット

2014
90
Summer

Ohmi Net | ●発行日 / 2014年7月1日 ●発行所 / 公益財団法人 淡海文化振興財団

① 特集★見る、聞く、話す、伝える 地域の空き家で作る 新しい地域づくり

古民家の活用とまちづくり

法政大学 現代福祉学部・大学院人間社会研究科 教授 岡崎 昌之さん

おうみの市民と企業が ともに Grow ⑤

自分に自信を持ってない子どもたちを応援

Grow 03

青少年支援

NPO 法人
D.Live

滋賀の市民活動を活性化させ、NPO を次の世代へ

Grow 01

市民活動支援

認定NPO法人
しがNPOセンター

市民の手でとれとれの「湖北」情報を毎週配信!

Grow 02

情報発信

STUDIO こほく
(スタジオこほく)

社会貢献する「世間よし」企業紹介

Grow 04

世間よし

前出産業株式会社

Grow



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

地域の空き家をつくる 新しい地域づくり

みなさんのお近くに空き家はありますか。現在、農山漁村、都市部関係なく空き家が増え続けており社会問題となっています。一方で、空き家である古民家を、地域のコミュニティや過疎地への移住促進に活かしたいと活動しているところがあります。過疎地域だけではない空き家増加の実態、活用方法、地域住民との関わりについて考えたいと思います。

古民家の活用とまちづくり

法政大学 現代福祉学部・大学院人間社会研究科 教授 **岡崎昌之**さん

農

山漁村、都市部を問わず全国で空き家が増えています。過疎地では積雪等による倒壊の問題、都市部では放火や犯罪の温床になりやすいなど、大きな社会問題となっています。総務省の調査によると、放置されている空き家は全国で二七〇万戸に達し、とくに大都市部で増え続け、深刻な問題となっています。これに対処するため市町村による空き家バンクの試みや、国交省でも空き家の除却と活用を推進するため空き家再生等推進事業に乗り出しています。

た

たとえば金沢市や神奈川県横須賀市などでは、市内に居住する学生たちとタイアップした空き家の再活用の試みがあります。移住してきた学生に安く居住スペースを提供し、都市内の活性化に役立てようという試みです。横須賀市は東京湾に面した急傾斜地の多い住宅地を沢山抱えています。今、この急傾斜地に立地した住宅街が高齢化しています。急な坂を上り下りすることは高齢者にとって大変困難なことです。そこで市内にある大学と連携し、学生たちに家賃は一人一万円

こ

と格安でルームシェアで入居してもらい、その代り町内会の行事や高齢者の買い物やゴミ出しなどの支援を担ってもらうのです。若者と高齢者との交流も生まれ、なかなか好評のようです。こうした空き家に別の付加価値を付けて、古民家という呼び方もあります。イギリスなどでは古い家具類もセツ

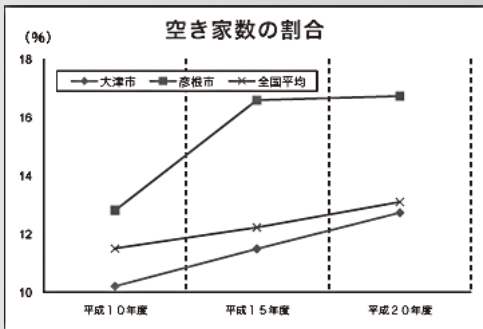


●プロフィール● 岡崎昌之(おかざきまさゆき)さん

岡山県出身。早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。(財)日本地域開発センター企画調査部長を経て、1994年から2000年まで福井県立大学。2001年より現職。専門は地域経営論、コミュニティ政策論。自治体学会顧問、地域づくり団体全国協議会会長、まちづくり市民財団理事、域学連携ネットワーク顧問(総務省)、国土交通省国土審議会政策部会専門委員他。

トでカントリーサイドの古民家を購入し、そこに居住することは一つのステイタスとなっています。古民家を活用した農家民泊、いわゆるB&Bは国内いたるところに存在し、イギリス旅行の大きな楽しみです。

滋賀県の高齢者の世帯割合と空き家率



▲大津市は恒常的に増加しており、彦根市は大きく増加しその後はほぼ横ばい

住宅総数	(単位：戸)		
	平成10年度	平成15年度	平成20年度
大津市	104,670	119,330	141,310
彦根市	42,660	46,270	50,830
全国平均	50,246,000	53,890,900	57,586,000

※この欄のグラフは、統計庁が実施している国勢調査および住宅・土地統計調査の調査結果を基に作成しています。



▲柳谷(やねだん)の古民家に移住した首都圏からのアーティスト

た古民家の活用です。収益で古

も

っともユニークなのが
地区内で空き家となっ

鹿児島県鹿屋市、旧串良町の柳谷地区は、公民館を核としてユニークなまちづくりに取り組んでいます。鹿児島大学と連携して柳谷特有の地元菌を活用した堆肥を作ることに成功し、堆肥の販売や堆肥を使ってサツマイモを栽培し、それを原料として焼酎をつくることなどで収益を上げています。その収益で公民館の広間を使って子どもたちの補習等、勉強の支援もしています。行政や補助金に頼らない独自のまちづくりを進めているのです。

Essay. I 市民活動をサポート！

小さな活動

数年前私は、知人に誘われて、不承不承「桜ウォッチング」という活動に参加した。それは、一般市民が自分の身近にある桜の木を観察しその開花日を報告するという、市民参加型調査活動である。開花というその日限りの現象を目視する。ただそれだけのことであって、活動といえるほど大層なものではない。ともかくなんとなく参加した。

近所にある何の変哲もない一本の大きな桜の木を選び、毎朝それを見続けた。すると、不思議なことに、私の意識や行動が日毎に変化していった。一本の木でしかなかった物体が、親しい友だちのように見え、順調な生長を応援するようになった。漫然と眺めるだけだったものが、近づいて細部を注意深く観察するようになった。終には、他のどの木より美しく咲き誇ってくれることを願った。

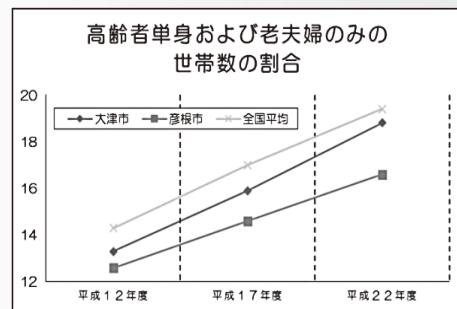
以来私はそんな小さな活動を通じて知り合ったこの大きな友だちを今も応援している。



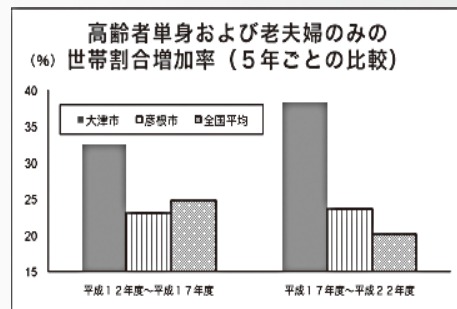
淡海ネットワークセンター
事務局長 歌代 泰和(うたしろ やすかず)さん

厄

民家を補修し、迎賓館と称し、全国公募でアーティストを選び、居住してもらっているのです。カメラマン、陶芸家、画家、彫金家など、現在では十軒ほどの古民家が迎賓館となりアーティストの活動拠点になっています。もちろん入居したアーティストは地区の活動に参加してもらい、子どもたちの指導してもらおうなど、まちづくりの一翼を担っているのです。介な空き家をどのようなにして地域社会の宝と組みが問われています。



▶ 全国平均より大津市、彦根市とも低い数値ではあるが、大津市のほうが高い数値となっている。



▶ 各5年間の世帯割合増加率の比較。彦根市は大きく変わらないが、大津市は大きく増加している。

世帯総数 (単位：世帯)

	平成12年度	平成17年度	平成22年度
大津市	100,843	111,004	130,157
彦根市	37,915	40,456	43,835
全国平均	46,782,383	49,062,530	51,842,307

地域の空き家でつくる新しい地域づくり●事例紹介

1

豊郷町

地域住民が寄り合う場、そして外から来た学生とも交流できる「おやえさん」

地域コミュニティスペース 「おやえさん」

滋賀県犬上郡豊郷町大町にある地域コミュニティスペース「おやえさん」は、約十年間空き家だった民家を学生シェアハウスを併設した初の施設として改修され、二〇〇七年六月に誕生しました。

きっかけは、持ち主が古民家活用支援団体NPO法人とよさとまちづくり委員会に活用について相談したからです。改修作業は、滋賀県立大 学建築系学生を中心としたグループとよさと快蔵プロジェクトが行いました。作業が始まった頃は不安げに見守っていた



◀地域の方と学生が交流する様子

た地域住民も、しだいに差し入れをするようになり、学生と住民との交流が自然に深まってきました。この交流のおかげもあり、活用への理解が住民の中で徐々に広がっていきました。



▲地域コミュニティスペース「おやえさん」

地域の縁側であるコミュニティスペースの開放は、週三日、十時から十七時の間。管理は地域住民がしており、シェアハウスの家賃収入は維持管理費や改修費に充てています。ここに来るお年寄りや、みんなとおしゃべりをして、学生の世話を焼くことで元気をもらっていると言

2

木之本町

移住をお考えの方、まず暮らしを体験してみませんか

杉野川ふるさとの家 「さきち」

滋賀県長浜市木之本町杉野地区には田舎暮らしを体験できる古民家「杉野川ふるさとの家」さきち」があります。さきは、約十年間空き家だった築百五十年の民家を改修して、二〇一〇年六月に誕生しました。

始まりは活用を望む地域住民の声。民家を解体すると聞いた住民有志が、地域のために活用できないかと、いざない湖北定住センターに相談し、活用に向けて動き出しました。民家を無償で借り、改修費用は補助金を活用、作業は地元住民でつくる新世会が約五か月かけて行いました。

なく、京阪神や関東からも来ており、多くが週末の利用です。利用者の中には、湖北への移住希望者も少なくなく、実際に移住する人もいます。現在宿泊予約はいざない湖北定住センターが受け付け、運営管理は新世会、建物の管理、利用者への対応、住民と外の人たちとの交流イベントなどは新世会が主体となり行っています。

利用者やイベント参加者とのふれあいの中で住民のみなさんは、少しずつ開放的になり、自分たちの地



◀「さきち」でのみそ作り体験イベント

まとめ

今回の特集では、決して他人事ではない空き家問題と、その空き家を活用した取り組みについてご紹介しました。活用事例としてご紹介した「おやえさん」と「さきち」は、活用方法は異なりますが、運営主体はあくまで地元住民という共通点があります。住民が地域のことを想い行動することで、地域住民同士の交流の場、外部の人々との交流の場となり、つながりを広げる一助となっています。

Essay. II

おうみ未来塾リレーエッセイ

つながりから活動が広がり、新たなつながりが～

10期生 鈴木 道弘(すずき みちひろ)
グループ：大津まちなかもりあげ隊

私は身近な自然と触れ合い、ホタルを追いかけて10年になります。ホタルに出会えた時の感動を伝えたいと「草津でホタルを楽しむ会」を作りました。遊び感覚で始めたことから、環境の点は意識せず、まちづくりという視点で活動に取り組みました。このことで、地域の多様な団体とつながりを持つことが出来、交流から活動がさらに広がりました。

私たちの活動の一つとして、地域の方々と水辺づくりをしています。以前は大切な水辺であった湧水池が、水利用が無くなり放置され、人が入れない荒れた状態で不法投棄の場となっていました。地域の方々と一緒に、ホタルが飛び、自然と触れ合う憩いの場を目指して活動に取り組んでいます。活動の中で、人と自然、暮らしと水辺がつながることで、環境が守られることに気がきました。

新たなつながりが生まれることは、初代塾長日高先生のお言葉「Think locally, Act locally, It becomes globally」なのでしょう。



います。入居学生は、寒さや虫、イタチなどの小動物が自由に出入りするのには困るが、住民からの差し入れや、時には住民と一緒にごはんを食べられるのが良いと話してくれました。

とよさと快蔵プロジェクトの今年度代表吉田瑛里奈さんは、「今後は開いてる時に学生が来るようにしたい。そして継続活用のために必要な改修を、住民の意見を聞きながら行っていきたい」と今後の取り組みについて話

してくださいました。

DATA

地域コミュニティスペース「おやえさん」

所在地 ● 滋賀県犬上郡豊郷町大町
連絡先 ● NPO法人とよさとまちづくり委員会 事務局
とよさと快蔵プロジェクト事務局 兼
滋賀県豊郷町石畑374-6
豊郷町アザックとよさと内
TEL:0749-35-2550
E-mail:npo.toyo-machi@hera.eonet.ne.jp

域は遠くからも来なくなるほどのところだと地元の魅力を見つめ直すようになりました。

いざない湖北定住センターの杉野吉成さんは、「さきち」の利用を通じて杉野地区への移住に結びつくよう、地元のみなさんで様々なことに活用してもらえれば」と、「さきち」のさらなる活用への思いを話して下さいました。



▶ 杉野川畔に建つ田舎暮らし体験施設「さきち」

DATA

杉野川ふるさとの家「さきち」

所在地 ● 滋賀県長浜市木之本町杉野2610
連絡先 ● いざない湖北定住センター
滋賀県長浜市朝日町8-23
TEL : 0749-50-1019
FAX : 0749-50-1018
E-mail : cohok-style@leto.eonet.ne.jp

おうちの市民・企業

ともに Grow

県内で活躍するNPOや
社会貢献企業を
レポート！

Grow 01 市民 ● 市民活動支援



▲STUDIOこほくのサイトでは生配信も、過去の画像も見られます

「マスメディアには乗りにくいローカル情報を、そこに住んでいる・関わっている人が自ら発信したい！」と思った板山さんが、PCに詳しい多賀さん始めさまざま人と出会い、協力することで始まったの

がユーストリーム配信サイト、STUDIOこほくの魅力的な人、そして熱い想いを毎週水曜日の夜九時から生配信。終了後はネットでアクセスすればアーカイブ映像としていつでも見られます。

市民の手でとれとれの「湖北」情報を毎週配信！

認定NPO法人 しがNPOセンター

代表●阿部 圭宏(あべ よしひろ)
設立●2011年9月
会員●正会員44人
連絡先●近江八幡市桜宮町207-3 K & Sビル3F
TEL/FAX : 0748-34-3033
E-mail : shiga.npo@gmail.com
URL : <http://shiganpo922.shiga-saku.net/>



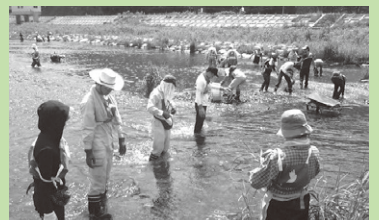
▲若人エンパワーメントプロジェクトをPRするしがNPOセンターの面々。

滋賀の市民活動を活性化させ、NPOを次の世代へ

「滋賀県のNPO支援力がまだ低い気がした」と代表理事の阿部さんが設立時の思いを語ります。この言葉の重みは、今回、伺った阿部さんの様々なNPO支援の経験と熱い思いから感じました。

阿部さんは県職員として淡海ネットワーキングセンター設立に携わったあと退職。退職後も、滋賀県の協働モデル研究会や協働提案制度創設に関わられました。しかし、「制度はつくったが、実際は協働を深化させていくのは難しい。行政が市民の動きに合わせたり、継続的にNPOとの関係づくりを進めるためには、特に行政側の努力が必要だ」と阿部さん。一方で、市民力をあげていくためには新たな市民活動支援の必要性を感じ、志を同じくする仲間呼びかけ、しがNPOセンターを立ち上げることにしました。

事業としては、スタッフの専門性を活かしてNPO運営に関わる各種マネジメント講座、相談事業に力を入れ、委託事業も積



▲岩手県大槌町にて滋賀からボランティアをコーディネートしての清掃活動

極的に受託し、自らも様々な団体と協働。平和堂財団から受託した助成事業の事務局も手がけます。

「NPOを次代に引き継げるような社会にしていきたい」。そのような強い思いを持って始める「NPO若人エンパワープロジェクト」があります。二年間で三百万円の寄付を集めて、五人にNPO運営の基礎から実践までを教える環境を整えるのが目標。阿部さんは「滋賀を良くする若者の可能性にかけてくれる方と、若者の両方を募集したい」と語ります。ここから次代のNPOの担い手が生まれるか、しがNPOセンターの活動に注目していきたいです。

(おうみネットサポーター 膽吹 憲吾)

日本の子どもは、自分に自信を持ってないことをご存知ですか？

日本の子どもたちは、アメリカや中国、韓国などに比べて自分に自信を持ってません。そんな問題に関して、活動をしているのがNPO法人「D・Live」(ドライブ)です。D・Liveは代表の田中さんが学校以外で

の教育の「場」の必要性を考え、大学在学中に設立。ミッションは、「子どもの自尊心が低いという問題を解決すること。自尊心とは、自分があるがままを認められるチカラのことで、現代では多くの人が自尊心が

社会貢献する
「世間よし」企業紹介

前出産業株式会社

滋賀県近江八幡市上田町1288-18
TEL : 0748-37-1647 FAX : 0748-37-1699
E-mail : info@maede.co.jp
URL : http://www.maede.co.jp/

障がい者と健常者が
互いを認め合える
社会へのお手伝い

近江八幡市の前出産業株式会社は、社会に貢献できる付加価値創造提供企業を目指す製造会社です。平成19年から取り組んでおられる障がい者雇用支援について、総務課の前出みずほさんにお話を伺いました。

前出産業株式会社



▲お話を伺った前出みずほさん。

きっかけは、社長がある会議で障がい者雇用促進の話聞いたこと。障がい者を雇用することは、作業工程を見直すきっかけとなり、また、作業を任せ

るための方法を考える力が社員につくなど、企業にとっても障がい者にとってもメリットがあるという話でした。この両者の関係性に共感した社長と前出さんは、障がい者を実習生として1週間受け入れる取り組みから始めました。

同社が雇用支援を始めてから7年経ち、社員の意識も変わってきました。当初は負担が増えることへの心配で難色を示していましたが、多くの障がい者と関わることで障がい者に対する理解が深まり、温かく見守るようになりました。昨年には、初の本採用者が出ました。仕事は清掃業務から始まり、今では業務の一部も任されるまでになっています。そして、雇用支援がきっかけで新しいネットワークが次々とでき、作業所への作業依頼や障がい者就労支援団体への事務所貸出へと支援が広がっています。

「障がい者への理解が広がり、障がい者と健常者が互いを認め合える社会になってほしいと思っています」と、想いを語っていただきました。同社では、障がい者と社員と一緒に働くことによって、障がい者を理解する一つの良い機会となっています。

(淡海ネットワークセンター 牧野利花)



▲初の本採用者。今もお仕事を頑張っておられます。

STUDIOこほく
(スタジオこほく)

代表●板山 きよ美(いたやま きよみ)
設立●2012年1月
会員●25名
連絡先●E-mail : info@studiokohoku.net
URL : http://www.studiokohoku.net/



▲真剣なカメラマン、リアルにチャット担当者、そして笑顔の生配信中の皆さん

スポーツチーム紹介など湖北に関する何でもあり。配信開始二年目、長浜市との協働事業となり市職員も隔週で出演し行政情報を紹介しています。これぞ「顔の見える市政」。実際には、参加できない人でもネットです講師の話が聞けるようにと市主催のセミナーを生配信したのは議会以外では

初めてのことだったそうです。板山さんは「最大のアクセス数があったのは昨年、台風十八号の時のレポートでした。生中継の強みを生かしたニュースの情報発信にも力を入れ、地域の事をみんなで考えるきっかけを作りたいです」と笑顔で語ってくれました。これだけの情報発信を市民の力でやっ

Grow 03 市民 ● 青少年支援

NPO法人 D.Live(ドライブ)

代表●田中 洋輔(たなか ようすけ)
設立●2009年(法人化は2012年)
会員●10人
連絡先●

TEL/FAX : 077-543-5771
E-mail : info@dlive.jp URL : http://www.dlive.jp/



低く、それが原因になり自殺や鬱へいたることもありま

具体的活動は、小学生が様々なチャレンジをする『こどもしゅっぱん社』。勉強を教えず、計画力養成をする中学生対象のD.Live塾などです。最近では、生徒である子どもたちが自ら企画したイベント『サバイバル缶けり』を開催。一つ一つの成功経験が、子どもたちの成長と自信になっています。「失敗を恐れなくなっ

て、自分自身の得意なこと、苦手なことも理解し、等身大の自分を受け入れるようになりました」と田中さんは語ります。

今年、D.Liveはも

ちろん、田中さん自身も転換期を経てます。パワーアップしていくと思いますので、注目の年です！子育てに関するメルマガにも力を入れ、学校・地域・家庭のすべてで子どもたちを育てるようにどんな活動を展開していくとのこと。少しでもD.Liveが気になった保護者の方々や子どもたちはHPをぜひご覧ください。「自分が子どもの頃に、こんな団体があったらなあ」そんなワクワクする活動が繰り広げられています。子どもたちが自分に自信を持ち、笑顔で過ごせる社会はともステキですよ。

(おうみネットサポーター 坂口 紗姫)

寄付 未来ファンドおうみ「おうみNPO活動基金」へ
ご寄付ありがとうございます。

5月9日、オムロン株式会社草津事業所様から215,643円をご寄付いただきました。同事業所は、エコ活動とボランティア活動を併せた「エコボランティア」に1年間社員一人ひとりが取り組まれ、ポイント化したその成果にあわせて会社も社会貢献活動へ寄付する取り組みをされています。

今回、草津事業所と山鹿事業所に従事する1,277名が昨年活動したエコボランティア活動のポイントに相当する額をご寄付いただいたものです。



お知らせ 前号89号に関する記載
内容誤りのお詫びと訂正

前回発行しました89号記載内容に誤りがございました。ご迷惑をおかけ致しました関係者の皆様および市民の皆様にお詫び申し上げ、次のとおり訂正いたします。

【元気印NPO NPO法人百菜劇場】
誤：「代表 西村 和雄さん」
正：「代表 根津 暎子さん」

【おうみ未来塾リレーエッセイ】
誤：「55センチの稚魚」
正：「5センチの稚魚」

講座 NPO会計初級講座を開催します！

淡海ネットワークセンターでは、滋賀県と共催で「NPO会計初級講座」を県内二か所で開催します。日常の仕訳、科目、領収書保管など会計の基礎を学びたい方は、ぜひご参加ください。

◇対象：NPO法人・任意団体の方で会計基礎を学びたい方
◇時間：13：30～16：40 ◇参加費：無料

<大津会場>
2014年7月12日(土)
アーブしが(滋賀県青年会館)竹生島(3階)
定員：45名

<米原会場>
2014年7月18日(金)
米原市米原公民館研修室2AB
定員：80名

※今後も会計講座を開催を予定しております。
※本講座の詳細については、当センターブログをご覧ください。

編集後記

淡海ネットワークセンター職員を卒業してすぐに関わることができてうれしかったです。しがNPOセンターの方々は、滋賀のNPO支援をリードされてきた方ばかりで、そのような方々が、すでに次代の担い手育成に取り組まれている話を聞いてドキドキしました。たくさんの方の手を取り組みが伝わるといいと思います。(おうみネットサポーター 膽吹 憲吾)

とにかく楽しい！何が始まるのかワクワクする！今回の取材、本当は生配信中のスタジオ見学に行きたかったから引き受けたのです。念願のスタジオの裏側が見られて幸せです。突然外れるライト、真剣なカメラマンさん、手書きのフリップ、どんどん増える出演者など、ライブ感がたまりませんでした。もっともっと「湖北の今」をたくさんの方が共有して欲しいです。

(おうみネットサポーター 幡 郁枝)

私ははじめての経験だったので質問項目を考えたりするのも難しく、ずっとドキドキしながらの取材でした！実際取材が始まるとNPOの活動の生の声を聞くことができ、とても楽しかったです。自らの活動のヒントもいただきました。記事にまとめる際も苦労しましたが、これからがんばっていきますので、よろしく願います！

(おうみネットサポーター 坂口 紗姫)

おうみネット 90

●2014 夏号●



Ohmi Network Center
淡海ネットワークセンター
公益財団法人 淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

- 〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
- TEL 077-524-8440
- FAX 077-524-8442
- http://www.ohmi-net.com
- E-mail:office@ohmi-net.com
- 開館時間／9:00～17:00
- 休館日／月曜日・祝日

●情報交流紙「おうみネット」は次のところに配布しています。

県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、びわ湖ホール、滋賀県国際協会、県内大学、県内NPO法人、県内市民活動センター、草津市立まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さくら、滋賀銀行、京都信用金庫、関西アーバン銀行、滋賀県信用組合、公民館、市役所、各地域環境総合事務所、県民情報室など

くらしのお悩みに
労福協くらしサポートセンターしかがお手伝いします



くらしなんでも相談
まずはお電話で！
077-522-4600

ご相談は、お近くのセンターをご利用ください。

- くらしサポートセンターしが大津 TEL：077-510-5400
大津市松本2丁目10-6 連合福祉会館1F
- くらしサポートセンターしが彦根 TEL：0749-27-3500
彦根市大東町4-28 彦根勤労福祉会館1F
- くらしサポートセンターしが草津 TEL：077-564-5512
草津市大路1丁目1-1 エルティ932 4F 406
- くらしサポートセンターしが近江八幡 TEL：0748-37-5522
近江八幡市鷹飼町南4丁目1-4 カルチャーコート1F 1-C
- くらしサポートセンターしが TEL：077-522-4600
大津市打出浜2番1号 コラボしが21 6F (一社) 滋賀県労働者福祉協議会内

今年のサマージャンボは6億円!!
でっかい夏をまるかじり!

サマージャンボ6000万
6000万円×90本(発売総額270億円・9ユニットの場合)

サマージャンボ6億円
1等前後賞合わせて6億円
1等4億円、前後賞各1億円

発売期間 7月4日(金)～7月25日(金)
抽せん日 8月5日(火)

公益財団法人 滋賀県市町村振興協会 <http://ss-sinko.jp/> <http://ss-sinko.jp/>

市民活動・人・企業との出会い広がる情報交流誌
「おうみネット」 掲載広告募集中!

- ★発行部数10,000部
- ★県内外の配布先約2,000カ所
- ★1枠(横9.3cm×縦3.5cm)15,000円

詳細は、当センターまでお問い合わせください!



この印刷物は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。